年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　F　組

使用教科書：（ 光村図書　書Ⅰ　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術における基本的な知識を持とうとする。芸術作品に取り組む。

【思考力、判断力、表現力等】芸術作品の意義を理解する。意図に応じた方法で芸術作品に取り組む。

【学びに向かう力、人間性等】芸術作品についての知識を十分活用し、自作品ができる。他作品に授業内容が反映され鑑賞できる。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な知識を持とうとする。書作品に取り組む。	臨書や書作品の意義を理解する。意図に応じた用筆で書作品に取り組む。	書作品についての知識を十分活用し、自作品ができる。他作品に授業内容が反映され鑑賞できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 漢字の書 【知識及び技能】 楷書の基本的用筆から文字の造形を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 臨書の意義を理解し、意図に応じた用筆で作品に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 書作品についての知識を十分活用し、作品を仕上げる。	・指導事項 「孔子廟堂碑」の向勢の字形、書風から臨書作品の完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「孔子廟堂碑」		○		○	・「孔子廟堂碑」についてプリントを用いて知識の確認。 ・「孔子廟堂碑」の向勢の字形、書風を形臨作品としての完成。	○	○	○	8
		・指導事項 「九成宮醴泉銘」の背勢の字形、書風から臨書作品の完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「九成宮醴泉銘」		○		○	・「九成宮醴泉銘」についてプリントを用いて知識の確認。 ・「九成宮醴泉銘」の背勢の字形、書風を形臨作品としての完成。	○	○	○	8
		・指導事項 「雁塔聖教序」の用筆変化のある字形、蔵鋒から臨書作品の完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「雁塔聖教序」		○		○	・「雁塔聖教序」についてプリントを用いて知識の確認。 ・「雁塔聖教序」の用筆変化のある字形、蔵鋒を形臨作品としての完成。	○	○	○	8
		・指導事項 「顔子家廟碑」の蔵鋒、蚕頭燕尾から臨書作品の完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「顔子家廟碑」		○		○	・「顔子家廟碑」についてプリントを用いて知識の確認。 ・「顔子家廟碑」の蔵鋒、蚕頭燕尾を形臨作品としての完成。	○	○	○	8
2学期	B 漢字の書 【知識及び技能】 行書の基本的用筆から文字の造形を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 臨書の意義を理解し、意図に応じた用筆で作品に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 書作品についての知識を十分活用し、作品を仕上げる。	・指導事項 「蘭亭序」から行書の用筆の丸み、連続性、省略、方向性、筆順等の変化から臨書作品の完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「蘭亭序」		○		○	・「蘭亭序」についてプリントを用いて知識の確認。 ・「蘭亭序」から行書の用筆の丸み、連続性、省略、方向性、筆順等の変化を形臨作品としての完成。	○	○	○	14
	C 仮名の書 【知識及び技能】 仮名の基本的用筆から文字の造形、構成を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 臨書の意義を理解し、作品に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名独特の用筆の知識を十分理解し、作品を仕上げる。	・指導事項 「いろは歌」の単体。 「高野切第三種」の連綿、変体仮名の用筆。 散らし書きの自作品完成を目指す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「いろは歌」 光村図書　書Ⅰ「高野切第三種」 ・一人１台端末の活用			○	○	・「いろは歌」「高野切第三種」についてプリントを用いて知識の確認。 ・散らし書きの自作品完成	○	○	○	14
3学期	C 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字と仮名が交じった作品を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の意味を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現方法を工夫して作品を仕上げる。	・指導事項 自分だけの表現をする。 書体、構想、表現、用具、用材の工夫を促す。 ・教材 光村図書　書Ⅰ「漢字仮名交じりの書」	○			○	・創作カードを作り、自分のイメージを膨らませた作品ができたか。	○	○	○	10
											合計 70